



# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け！

今回は特別編！

今年4月4日に新著『自治体の土木担当になったら読む本』を上梓されました、伊勢崎市治水課長 橋本 隆様より1ページご執筆いただきました☆



## いちばんやさしい入り口へようこそ！

伊勢崎市治水課長 橋本 隆

私をご紹介する拙書は「都市計画や土木って、どんな本から読めばいいの？」という悩みに寄り添う3冊です。「都市計画や土木の実務がイメージできない…」こんな不安を感じたことはありませんか？私も新規採用職員の頃、法令や制度だけでなく、専門用語の多さにも戸惑いながら、手探りで学んだ記憶があります。右も左もわからない中、窓口や電話の問い合わせには答えなければならない。そんな状況で「やさしく教えてくれる本があったらな」と感じた経験が、3冊の原点になっています。

### ■ 初心者がスイスイ理解できる道しるべ

#### 『自治体の都市計画担当になったら読む本』(学陽書房)

都市計画とは何か？という基本から、用途地域や開発許可の考え方、都市計画図の見方まで、実務に必要な知識を図解でやさしく解説しています。転入したばかりの方や「都市計画という言葉は知っているけど、中身はよくわからない」という方にぴったりの入門書です。



### ■ 技術系公務員の働き方の基本が学べる教科書

#### 『これだけは知っておきたい！技術系公務員の教科書』(学陽書房)

技術系公務員の働き方に焦点を当てた数少ない教科書です。公務員としての仕事の進め方など、専門知識の前に知っておきたいノウハウを紹介しています。技術系公務員が経験する「あるある」な場面を取り上げながら、現場で役立つ知識を学ぶことができます。



### ■ ビジュアルかつ現場目線で解説する実務ガイド

#### 『自治体の土木担当になったら読む本』(学陽書房)

道路・橋梁・河川などの社会資本の整備や管理を行う上で、土木担当に求められる実務ノウハウをまとめています。現場の感覚を大切に構成で、測量・設計・施工だけでなく維持管理まで幅広くカバー。豊富な図表とやさしい語り口から無理なく理解できます。



これらの3冊は、実務者が実務者向けに書いた本です。法律、制度や専門用語だけでなく、実務で「ここが知りたかった！」という要所を重視しています。読み進めるうちに、「私の職場でもあったな」「こうすればよかったのか」と思わず頷いてしまう場面があるはずです。

### ■ e-JINZAI for governmentウェブサイト(ビズアップ総研)

<https://www.ejinzai.jp/government/administration-management/technical-staff/>

近年、多くの自治体がeラーニング研修を導入しています。私が講師を務め、3冊の要点をお伝えする土木職基本業務研修の動画がビズアップ総研によるe-JINZAI for governmentで公開されました。所属団体が視聴契約をしていればいつでも視聴できますし、未契約団体でも無料でお試し視聴ができます。スキマ時間を活用したい方にお勧めです。

都市計画や土木の実務に携わったばかりの頃は、戸惑うことも多いでしょう。はじめの一步は、誰でも不安ですよね。でも、やさしい入り口と正しいガイドがあれば、少しずつ着実に成長できます。ぜひ3冊を実務の味方として活用しながら、自信を持って一步を踏み出してください。私も皆さんのはじめの一步を心から応援しています。



**e-JINZAI**  
for government

